

展示全体の基盤構築となる調査を行い、未来大の成り立ちや魅力を伝える展示をする

調査班「FUN·damental」とは？

由来

ミュージアム展示を行う上で重要な調査という「根本的 (Fundamental)」な役割を担う

目的

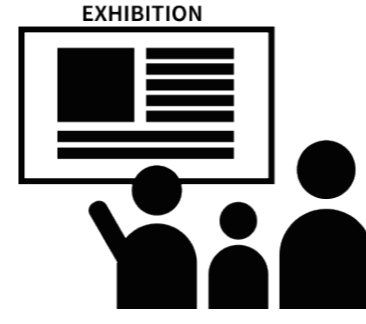
ミュージアム展示全体の基盤構築となる調査を行い、未来大学の成り立ちや建築の魅力を伝える

活動内容



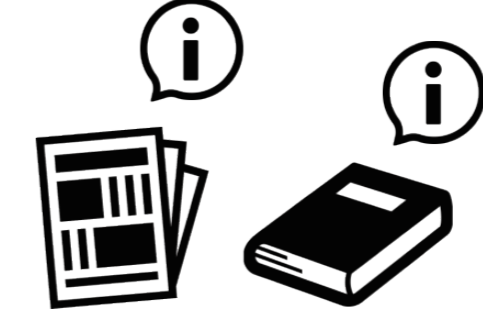
調査

未来大学に関する事柄を情報ライブラリにおいてある周年誌や大学パンフレット、建築雑誌で調べた上げた



資料の収集

未来大学での活動写真や大学パンフレット、未来大学について掲載されている建築雑誌といった貴重資料の収集と保管した



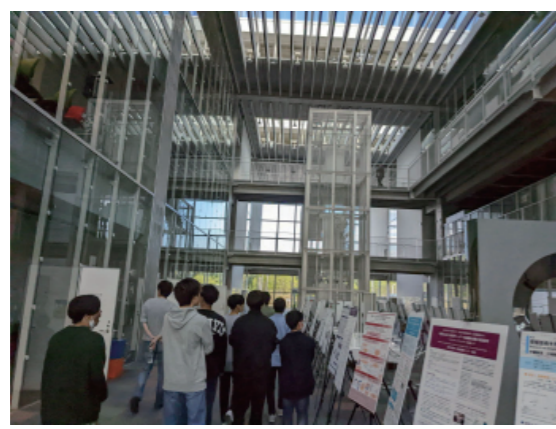
展示物の作成

調査した内容を元に、未来大学の建築や歴史の魅力を伝える展示物の制作をした

調査

フィールドワーク

未来大学内を探検し、大学内での気づきをカメラで撮影し写真として残す



コンテンツの決定

フィールドワークから得た気づきをまとめ、展示のコンテンツを「未来大の建築と歴史」に決定



文献調査・測量

展示のコンテンツについて調べるために情報ライブラリで、建築雑誌や学内パンフレットの情報をまとめた
FUN·tasy の展示物の一つである家具の3Dモデル作成のための測量を行う



インタビュー取材

未来大学の開学に携わった先生方 2 名へのインタビュー取材を行い、文献から調べきれなかったことをお聞きした
その後、取材内容を書き起こし整文を行った



資料の収集

目的

1. 写真等の視覚的な情報を提供し、写真を通じて展示物に深く没入してもらうこと
2. 写真を見ることから生まれる閲覧者との交流や参加を促進させること

開学 10 周年誌、20 周年誌、年度ごとの学校パンフレットなどに掲載されている資料を展示に使用する目的で提供していただいた



意識したこと

提供していただく画像のリストの作成
画像ごとにラベルを付け、振り分けを行う
▶ 確実に、時間をかけず負担にならないやり取りを心がけた



展示物の作成

方向性の決定

これまでの調査から未来大学の**建築**と**歴史**の魅力を発見することができた！！

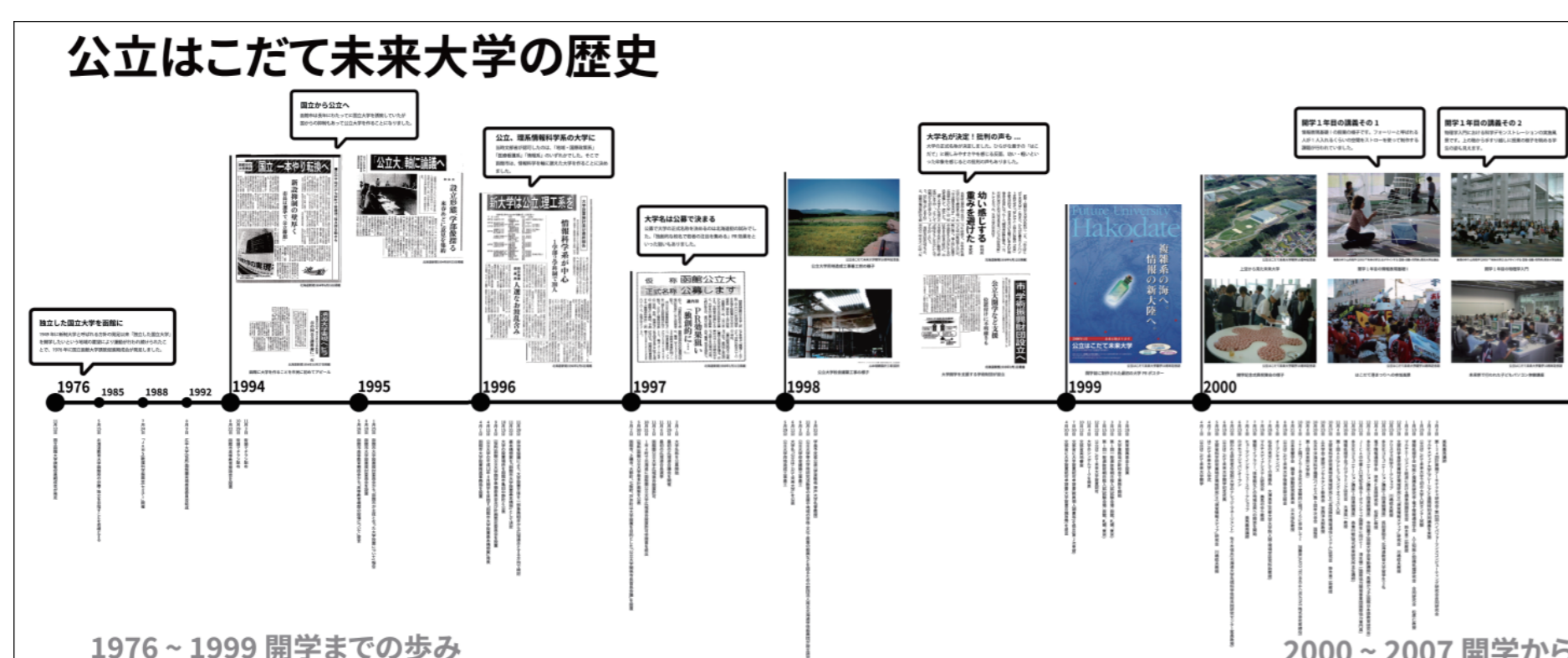
未来大学の**歴史**の魅力を伝える→未来大学の**年表**
未来大学の**建築**の魅力を伝える→未来大学の**なぜ**を知ってもらうポスター

超巨大年表



未来大学を開学しようとする動きができてから今までの歴史を知ることのできる全長 12m もの**超巨大年表**

1. 上部に年度に関する資料を下部に出来事を箇条書きで羅列するデザインに
2. 資料を大きく載せることで**視覚的なインパクト**と出来事の詳細をわかりやすく
3. 載せた資料についての理解を深めるために、資料についての説明を**吹き出し**で表現



Q&A ポスター



知られざる未来大開学前のエピソードや建築に関する疑問を**Q&A**方式のポスターで展示

問題→結論→理由という構成にすることで**論理性**をもたせる

▶ **論理的=わかりやすい**

Q & A

公立はこだて未来大学は 23 周年を迎えました。未来大学には、知られざる歴史の輪郭や疑問が隠れています。このポスターでは、そんな知られざる歴史や疑問を、未来大学に関する資料や Q&A 形式で紹介します。この活動により、未来大学の歴史や疑問をもっと知ってみたい、聞いてみたいといった興味を生み出す予定です。

Q1. なぜ未来大学はできた？
A 「面影に国立大学がほしい...！」そんな思いがきっかけで誕生した



Q4. なぜ山本理嗣氏に未来大学の建築をお願いした？

A 最もチームの教育コンセプトが共有できたから



Q10. なぜ情報ライブラリとミュージアムは入り口に近い？

A 社会とのインターフェースとして機能させたかったから



Q11. イカボとは？

A イカロボットもしくはは鷹・宇・民が一体となって推進していた一大プロジェクト

